NIKKOL
Finding Solutions

おいしさを邪魔しない乳化剤

オイル香料を水にクリアに乳化、透明度の高い飲料を実現します。

高親水性ポリグリセリン脂肪酸エステル
NIKKOL Decaglyn EX シリーズ

ポリソルベート 80
NIKKOL SG-SOV 2000F

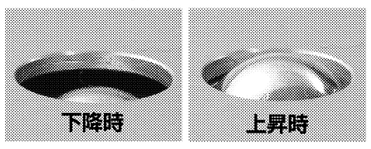
お問い合わせは
日光ケミカルズ株式会社
本社　東京都中央区日本橋馬喰町1-4-8
0120-037-139
www.nikkol.co.jp
www.chemical-navi.com

この軽さ助かります！
クイックリフター
かるあげクン

特許取得中の新製品

作業効率がUP！（高効率）で利益率UP！
エアーや電気を使わず、簡単に手動で昇降可能！
平台の上でも台車に載せても使用可能。

ボールベアーを使用しているのでスムーズに転がります。



昇降機能とオプション品を活用することで、より安全な作業（怪我防止）を行うことができます。リフター式台車に取付、荷物の荷卸しや収納、倉庫棚の重量物の出し入れ等作業台や重量物の通過台としても使用可能です。（※右記写真は特型製作品）

100kgまでの重量物の搬送・移動に便利！

オーダーメイド承ります！　ご希望の台車寸法をご提示いただければ特型での製作も可能です。弊社営業まで、お問い合わせください。

株式会社
井口機工製作所
www.isb-iguchi.com
本社　〒178-0064　東京都練馬区南大泉 1-20-7
TEL.03-3923-1211 FAX.03-3923-8100
大阪支店・名古屋オフィス・福岡オフィス
ISB KOREA CO.,LTD.　ISB(Thailand) CO.,LTD.　TAIWAN Office

難病治療・高齢者医療に貢献

「顧みられない病」に挑む

医療・医薬

多くの人が存在すら知らなかった難病を、日本企業の薬で治療―。将来、こうした光景が世界中で見られるようになるかも知れない。貧困による劣悪な衛生環境が原因でまん延する「顧みられない熱帯病（NTDs）」の制圧に日系製薬企業が力を注いでいるためだ。開発途上国や新興国では、NTDsが経済成長の妨げになっている場合もある。解決できれば治療薬開発に取り組んできた製薬各社が称賛されることはもちろん、日本という国の存在感や技術力を示すことにもつながる。

「顧みられない熱帯病」の制圧が望まれている（WHO／Bangladesh）

NTDsとは世界保健機関（WHO）が「人類の中で制圧しなければならない熱帯病」と定義する17の疾患を指す。この中には比較的知られているデング熱や狂犬病、ハンセン病も含まれている。だが、リーシュマニア症、シャーガス病などはほとんどの人が知らないのが現状と考えられる。

30カ国では六つ以上のNTDsが横行中であると考えられており、深刻な社会問題となっている。現在は新興国の医薬品市場が急激に伸びているとはいえ、各製薬企業にとって主要な事業地域は依然として日米欧のままだ。過去はなおのことであり、流行が開発途上国に偏るNTDsへの取り組みは遅れていた。

こうした現状を打破すべく、複数の日系製薬が精力的な活動を展開している。武田薬品工業はデング熱ワクチンの第2相臨床試験を実施中。アステラス製薬はアフリカ睡眠病やリーシュマニア症などに関する薬を探索する創薬共同研究を、国内の5研究機関などと進めている。エーザイはリンパ系フィラリア症治療薬を2013年から20年まで無償提供するほか、国際非営利団体であるDNDiと共同でシャーガス病治療薬の第2相臨床試験にも取り組む。

官民連携の動きも出ている。世界の最貧困層へ医薬品を届ける目的で「グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）」が、日本政府と日系製薬6社などによりつくられた。NTDsや途上国向け感染症に対する医薬品やワクチン、診断薬の開発を支援する。14年度上期は七つの研究開発プロジェクトに対し、1530万ドル（約18億円）を助成した。

公衆衛生先進国の日本は、培ってきた知見を世界へ還元する責任がある。NTDs治療薬の創出という形でそれを具現化し、存在感を一層向上させることが望まれる。

健康寿命延ばす取り組み

ヘルスケア

2025年に団塊の世代が75歳以上になり、日本では高齢化率が30％を超える。超高齢者社会では平均寿命と健康寿命の乖離（かいり）が大きな問題になる。病気を抱え支援や介護が必要な期間が長引くほど生活の質（QOL）は低下する。健康寿命を延ばすためには病気の予防や早期発見・治療が何より重要であり、医療機器メーカーはそれらに役立つ製品の開発に積極的に取り組んでいる。

日本では要支援・要介護になる最大の原因が「運動器の障害」であり、運動機能が低下し支援・介護のリスクが高まるロコモティブシンドロームの予防が重要になっている。筋量は20歳をピークに年1％減少すると言われ、高齢者になる前から運動機能の維持・向上に取り組むことが大切だ。そこでアルケア（東京都墨田区）は下肢筋力を測定し、全国の平均筋力値データと比較できる装置「ロコモスキャン」を実用化した。これまで下肢筋力を定量評価し自分の〝脚年齢〟を簡単に調べられる装置はなく、下肢筋力値はロコモ予防の一つの指標になると注目されている。

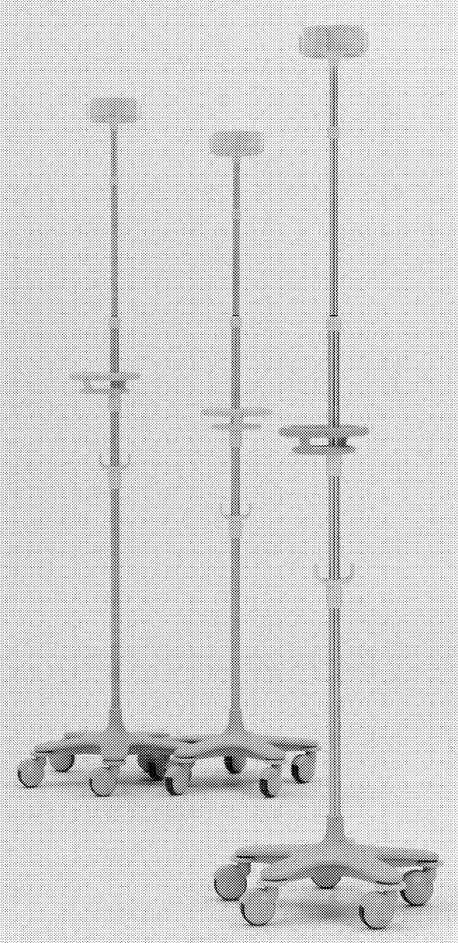
加齢が重要な因子の一つである末梢（まっしょう）動脈疾患。動脈硬化によって手足の冷感やしびれ、歩行時の痛みが起き、重篤化すれば潰瘍や壊疽（えそ）で下肢を切断するケースもある。末梢動脈疾患の治療は血管バイパス手術が主流だったが高齢者を中心に患者負担が大きい。現在は大腿（だいたい）部の血管からカテーテルを挿入する手術が増えている。

カテーテル国内首位のテルモは末梢動脈疾患の早期治療に向け、最先端治療機器である薬剤塗布バルーンカテーテルや薬剤徐放ステントなどの開発に着手。患者負担が少なく治療効果が高い日本発の機器を投入し、市場を独占していた海外メーカーの牙城を崩したい考えだ。

25年以降は患者数に対し医師や看護師、介護者らが相対的に少なくなることも懸念され、医療機関の業務効率を高めるシステムが必要になる。オムロンヘルスケア（京都府向日市）は生体情報モニターや各種測定センサーの病院向けブランド「アキュミル」を立ち上げた。体温計や血圧計、血糖計などの無線通信機能を活用し患者データの管理を効率化する。少子高齢化と人口減少の中で日本が現在の医療提供体制を維持していくにはIT技術の活用が欠かせない。病院内だけではなく、今後は病院間、地域内のクリニック、介護施設などでも患者データを連携させることが求められていく。

（上）末梢動脈疾患治療用のステント（テルモ）（下）ロコモ予防に役立つ下肢筋力測定装置（アルケア）

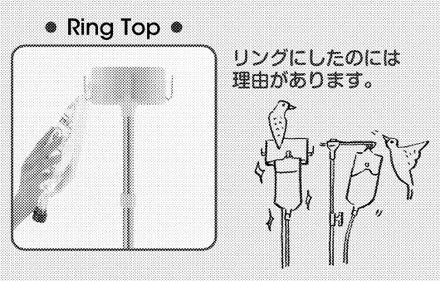
医療・医薬・ヘルスケア　日本力―未踏に挑む―



看護師さんと患者さんの
『こうだったらいいな』をかたちにしました
divo
点滴スタンド［ディーボ］

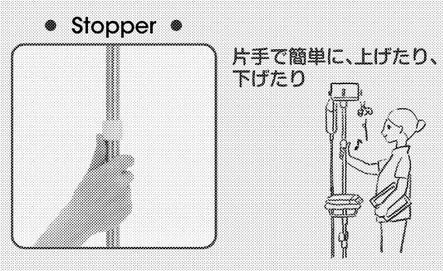
受賞　"超"モノづくり部品大賞　健康・医療機器部品賞

● Ring Top ●
リングにしたのには理由があります。

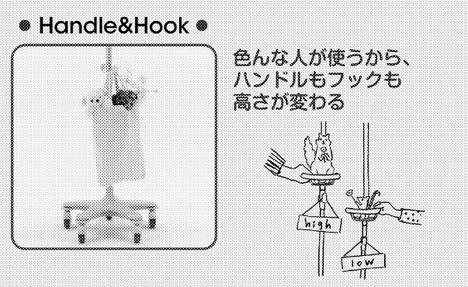


● Handle ●
患者さんと家族をつなぐまぁるいハンドル

● Stopper ●
片手で簡単に、上げたり、下げたり

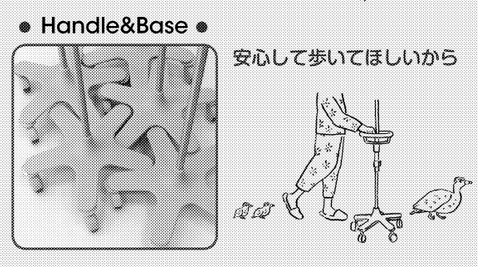


● Handle&Hook ●
色んな人が使うから、ハンドルもフックも高さが変わる



● Clean&Safety ●
すっきりしたかたちだから安全、だから清潔

● Handle&Base ●
安心して歩いてほしいから



※国内外の数々のデザイン賞を受賞しました。

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所
お問い合わせ・ご相談は【お客様サービスセンター】へ…受付時間/9:00～17:20（土・日・祝日を除く）
※掲載の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
フリーダイヤル 0120-81-9060
●インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。
［オカムラホームページ］http://www.okamura.co.jp/
株式会社 岡村製作所　お客様サービスセンター
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル